

経済指標解説

2014年8月15日

主要な経済指標の発表予定と予測

(8/18~8/22)

経済調査部
 松浦 大将
 03-3591-1435
 hiromasa.matsuura@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※ () 内はみずほ総研予想

20日 : 7月の貿易統計 (貿易収支▲7,582億円、輸出前年比+3.7%、輸入同▲0.8%)
 : 6月の全産業活動指数 (前月比▲0.2%、前年比▲0.5%)

駆け込み需要の反動などから、4~6月期の実質GDPは大幅なマイナス成長

13日に発表された4~6月期の実質GDP (1次速報) は前期比▲1.7% (年率▲6.8%) と、2011年1~3月期 (前期比▲1.8%、年率▲6.9%) 以来の大幅なマイナス成長となった。駆け込み需要の反動減などにより個人消費が大幅に減少したことや、1~3月期に投資が集中した反動から設備投資が5四半期ぶりに減少したことが、成長率が落ち込んだ主因である。他方、外需は4四半期ぶりにプラス寄与に転じた。輸出は小幅に減少したが、消費増税や環境増税に伴う駆け込みの反動で輸入が大幅に減少したことが外需寄与度を押し上げた。

(解説の詳細は8月13日発表の「2014年4~6月期1次QE概要」をご参照ください。
http://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/qe/140813qe_summary.pdf)

景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、3カ月連続の上昇

8日に発表された7月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断DIが51.3 (前月差+3.6ポイント) と3カ月連続で上昇した。一部の業種で求人数の減少がみられたことなどから雇用関連のDI (同▲0.2ポイント) が小幅に悪化した。家計動向関連 (同+4.3ポイント) ・企業動向関連 (同+3.6ポイント) はともに改善した。「アクセサリーなどの装飾品関連も順調に回復し、消費税増税の影響はほぼなくなっている」(近畿・百貨店) など前向きなコメントがみられている。一方、2~3カ月先の見通しを示す先行き判断DIは51.5と、前月から1.8ポイント低下した。引き続き消費税増税後の反動減の影響が和らぐことへの期待がみられるものの、燃料価格の上昇に対する懸念などから、家計動向関連・企業動向関連・雇用関連全てのDIが低下した。もっとも、景気の良し悪しの境目とされる50を上回る水準は維持している。

来週は貿易統計、全産業活動指数が発表される。

貿易収支は、赤字幅が縮小

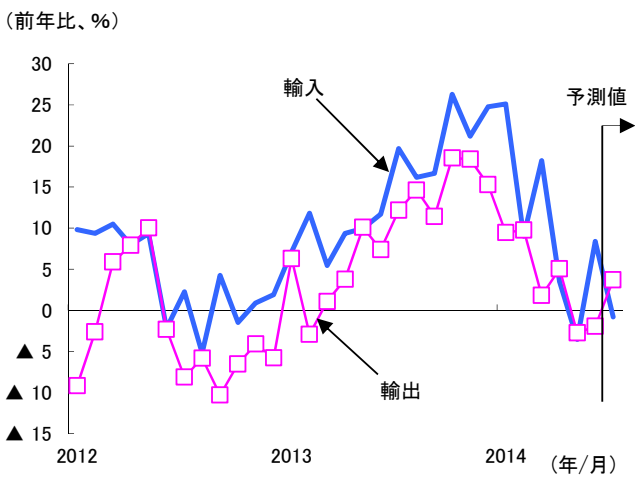
20日発表の7月の貿易統計は、輸出金額が前年比+3.7% (6月同▲1.9%)、

輸入金額が同▲0.8%（6月同+8.4%）、貿易収支が▲7,582億円（6月▲8,232億円）と予想する。円安と海外景気の回復を背景に輸出が前月から持ち直す一方、輸入は6月にエネルギーを中心に大幅増となった反動で減少するとみられる。国内の耐久財消費や鉱工業生産の回復が遅れ気味であることも輸入を抑制する要因となるだろう。貿易赤字は高水準ながら、前年同月と比べると赤字幅が縮小する見込みである。

全産業活動指数は2カ月ぶりに低下

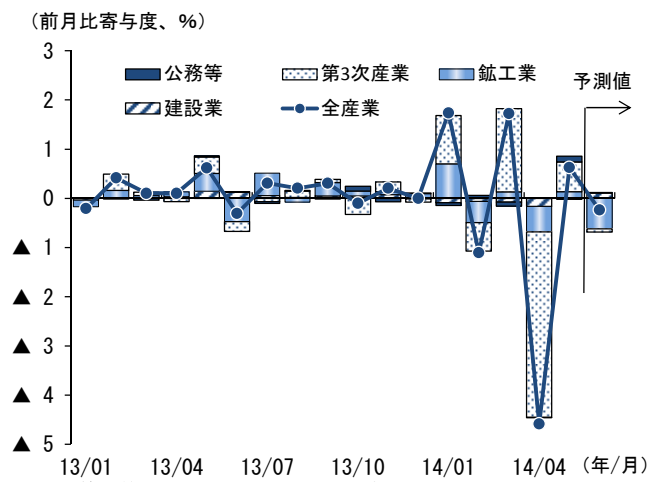
同日発表される6月の全産業活動指数は、前月比▲0.2%（5月同+0.6%）と予想する。鉱工業生産指数と第3次産業活動指数が低下したため、全産業活動指数は前月比小幅のマイナスとなった模様である。

図表1 輸出入金額の推移



(注)2014年7月はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)財務省「貿易統計」

図表2 全産業活動指数の推移



(注)季節調整値。2014年6月はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)経済産業省「全産業活動指数」

執筆担当～ 松浦大将

予測担当～ 貿易統計：大和香織、全産業活動指数：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回	
8/15(金)	米	鉱工業生産指数(7月) 前月比	[+0.4%]	+0.2%	+0.5%
		設備稼働率(7月)	79.2%	79.1%	79.1%
	ニューヨーク連銀製造業業況指数(8月)	[+22.5]	+25.6	+19.3	
	ミシガン大消費者信頼感指数(8月速報)	[81.8]	81.8	82.5	
	生産者物価指数(7月) 前月比 [食品・エネルギーを除く] 前月比	+0.1% +0.2%	+0.4% +0.2%	▲0.2% ▲0.1%	
8/19(火)	日	20年利付国債入札			
	米	消費者物価指数(7月) 前月比 [食品・エネルギーを除く] 前月比	[+0.1%] [+0.2%]	+0.3% +0.1%	+0.4% +0.3%
		住宅着工件数(7月) 年率 住宅着工許可件数(7月) 年率	[100.0万件] [101.0万件]	89.3万件 97.3万件	98.5万件 100.5万件
	8/20(水)	日	通関収支 原数値 [▲7,582億円]	▲8,232億円	▲9,108億円
貿易統計(7月) 前年比 [-]			-	-	
輸出 前年比 [+3.7%]			▲1.9%	▲2.7%	
輸入 前年比 [▲0.8%]			+8.4%	▲3.5%	
全産業活動指数(6月) 前月比		[▲0.2%]	+0.6%	▲4.6%	
米	FOMC議事録(7/29・30)				
8/21(木)	中	HSBC製造業PMI(8月速報)	51.6	51.7	50.7
	米	中古住宅販売件数(7月) 年率	[500万件]	504万件	491万件
		フィラデルフィア連銀製造業業況指数(8月)	[+18.0]	+23.9	+17.8
		失業保険新規申請件数(~8/16)	[305千人]	311千人	290千人

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
日：日本、米：米国、中：中国